

「アスリートイメージ評価調査」2018年10月調査
～「親しみやすい」アスリート1位に大坂なおみ、
「夢や感動を与えている」アスリート1位に大谷翔平～

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング（本社：東京都港区 社長：岩佐克俊）は、株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区 社長：矢嶋弘毅 以下博報堂D Yメディアパートナーズ）、データスタジアム株式会社（本社：東京都港区 社長：加藤善彦）と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」2018年10月調査を行いました。

■ 調査結果 ■

アスリートイメージ総合ランキングは、1位：羽生結弦（フィギュアスケート） 2位：イチロー（野球） 3位：大谷翔平（野球） 4位：大坂なおみ（テニス） 5位：長谷部誠（サッカー）となりました。

4位に入ったテニスの大坂なおみ選手は、全米オープンで男女通じて日本人初の優勝という快挙を成し遂げました。大坂選手は「純粋な」アスリート、「親しみやすい」アスリート、「明るい」アスリート、「勢いを感じる」アスリートの複数のイメージ項目において1位になっており、アスリートとしての実力と、ユニークな会見・インタビューを通じたキャラクター性がこの大会におけるパフォーマンスを通じて認知されたと考えられます。

「夢や感動を与えている」アスリートのランキングは、1位：大谷翔平（野球） 2位：羽生結弦（フィギュアスケート） 3位：大坂なおみ（テニス） 4位：イチロー（野球） 5位：錦織圭（テニス）となりました。今期MLBに移籍した大谷翔平選手は、負傷のため投手としての活躍こそ限定的でしたが、野手としては22本塁打を打つなど大きく活躍し、米国において新人王に推す声も大きくなりつつあります。

「存在感がある」アスリートのランキングは、1位：イチロー（野球） 2位：羽生結弦（フィギュアスケート） 3位：大谷翔平（野球） 4位：本田圭佑（サッカー） 5位：タイガー・ウッズ（ゴルフ）という結果になりました。今期は途中から会長付特別補佐に就任したイチロー選手ですが、来年のMLBの開幕戦において所属しているシアトル・マリナーズが東京ドームにて試合を開催するため、選手としての復帰を期待する報道が出てきています。

「アスリートイメージ評価調査」はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、調査対象としたアスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂D Yメディアパートナーズグループでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂D Yスポーツマーケティング 経営計画・管理部 酒井 03-6441-7990

■ アスリートイメージ総合ランキング

1位：羽生結弦（フィギュアスケート） 2位：イチロー（野球） 3位：大谷翔平（野球）
4位：大坂なおみ（テニス） 5位：長谷部誠（サッカー） 6位：本田圭佑（サッカー）
7位：錦織圭（テニス） 8位：内村航平（体操） 9位：リーチ マイケル（ラグビー）
10位：田中将大（野球）

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング

・「純粋な」アスリート

1位：大坂なおみ（テニス）
2位：平野美宇（卓球）
2位：根尾昂（高校野球）
4位：吉田輝星（高校野球）
5位：羽生結弦（フィギュアスケート）

・「華やかな」アスリート

1位：羽生結弦（フィギュアスケート）
2位：大谷翔平（野球）
3位：大坂なおみ（テニス）
4位：フェルナンド・トーレス（サッカー）
5位：錦織圭（テニス）

・「親しみやすい」アスリート

1位：大坂なおみ（テニス）
2位：平野美宇（卓球）
3位：大谷翔平（野球）
4位：田中将大（野球）
5位：新井貴浩（野球）

・「明るい」アスリート

1位：大坂なおみ（テニス）
2位：平野美宇（卓球）
3位：高梨沙羅（スキー・ジャンプ）
4位：大谷翔平（野球）
4位：阿部一二三（柔道）

・「パワフルな」アスリート

1位：リーチ マイケル（ラグビー）
2位：伊調馨（レスリング）
3位：白鵬（大相撲）
4位：大坂なおみ（テニス）
5位：御嶽海（大相撲）

・「存在感がある」アスリート

1位：イチロー（野球）
2位：羽生結弦（フィギュアスケート）
3位：大谷翔平（野球）
4位：本田圭佑（サッカー）
5位：タイガー・ウッズ（ゴルフ）

・「勢いを感じる」アスリート

1位：大坂なおみ（テニス）
2位：大谷翔平（野球）
3位：羽生結弦（フィギュアスケート）
4位：桃田賢斗（バドミントン）
5位：吉田輝星（高校野球）

・「夢や感動を与えている」アスリート

1位：大谷翔平（野球）
2位：羽生結弦（フィギュアスケート）
3位：大坂なおみ（テニス）
4位：イチロー（野球）
5位：錦織圭（テニス）

■ 調査概要 ■

- ・調査方法：Web 調査
- ・調査地区：首都圏＋京阪神圏
（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）
- ・調査対象者：対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数：600サンプル
- ・調査期間：2018年10月4日～10月10日